

2012年11月23日

創立100周年にあたり 竹中社長挨拶

2012年11月23日、イビデン株式会社(代表取締役社長:竹中裕紀)は、創立100周年記念行事として、大垣フォーラムホテルで記念祝賀会を開催し、古田肇 岐阜県知事をはじめとする、イビデンに縁の深い地域の皆様にご参加いただきました。竹中社長の挨拶に続き、土屋嶮 大垣共立銀行代表取締役頭取のご祝辞を賜りました。和やかな雰囲気の中、会は進行し、創立100周年を祝うとともに、長きにわたり当社をご支援いただきました皆様方への謝恩の会となりました。

◆竹中社長挨拶(要約)

イビデングループは、1912年、地域経済の振興を目的とした発電会社「揖斐川電力株式会社」として創立いたしました。その後当社は、自家発電を活用した電気化学工業へと転進し、さらに建材、電子・セラミックへと事業を転換してまいりました。2012年11月、当社は創立100周年を迎えることができました。大正、昭和、平成の長きにわたり、当社グループをご支援賜りました皆様に心から御礼を申し上げます。

さて、当社グループは、この100周年を期に、長年当社グループを支えてきた水力発電所の改修工事を行いました。水力発電は、クリーンかつ、再生可能なエネルギーとしてますます重要になっております。今回改修した水力発電所は、先人たちから受け継いだ大切な遺産として、次世代においても稼動・活用してまいる所存です。

また、経営基盤の強化を目的に、IPM(IBIDEN Profit Management)と称する、独自の自主改善活動の推進・定着を図ってまいりました。現在は、生産部門から技術・機能部門まで含めた全員参加のロスゼロ活動として展開しております。今後も当社グループの収益力向上を目指して、このロスゼロ活動を強力に推し進めてまいります。

当社グループは、次の100年に向けて、新たな一歩を踏み出しました。あらゆる困難に際しても、従業員が一丸となって乗り越えて行くという良きDNAのもと、永続的に存続・発展し続けることができる企業グループを目指してまいります。また、CSR経営を着実に遂行するとともに、革新的な技術で豊かな社会の実現に貢献してまいる所存です。今後とも末永くご支援賜りますようお願い申し上げます。

以上